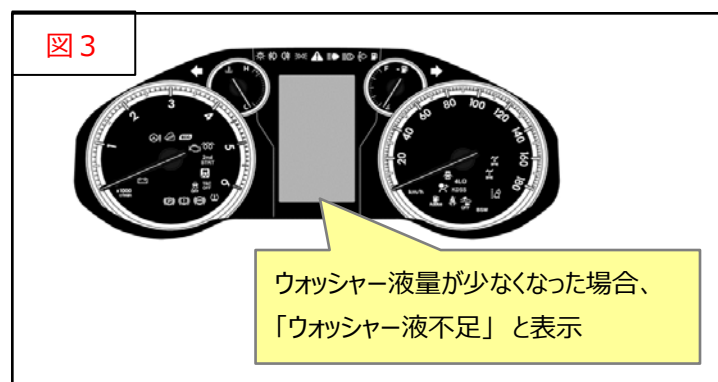


Q : 寒冷地仕様の装備を教えてください。

プラド

項目	説明	寒冷地仕様	標準仕様	ディーゼル			ガソリン	
				1GD-FTV (2.8L)			2TR-FE (2.7L)	
				TZ-G	"Lパッケージ"	TX	"Lパッケージ"	TX
冷却水 (LLC)	寒冷地では、エンジン内を潤滑している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならないと凍結しなくなります。	LLC 50%	LLC 30%	○	○	○	○	○
バッテリー	バッテリーの容量を上げます。	80D26L	55D23L	-	-	-	○	○
		85D26R +85D26L (合計2個)	85D26L	○	○	○	-	-
ウインドシールドアイサー	雪だまりや凍結によりワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配した物です。 位置は、運転席ガラスの端の部分から下の部分へL字型に配しています。 (下図1)	あり	なし	○	○	○	○	○
ウインドシールドワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用	標準	○	○	○	○	○
リヤフォグランプ *1	霧・雪・雨などにより視界が悪い時に車の存在を後続車に知らせるための赤色灯です。 リヤバンパーに装着されます。(下図2)	あり(左右)	なし	○	○	○	○	○
ウォッシャー液レベルウォーニング	ウォッシャー液が残りわずかになった時、マルチインフォメーションディスプレイに「ウォッシャー液不足」と、警告メッセージが表示されます。(下図3)	あり	なし	○	○	○	○	○
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う補助ヒーターが標準で設定されています。 寒冷地仕様では、それらのヒーターに加え、さらに室内の暖房性能を向上させるビスカスヒーターが設定されます。 (ビスカス式ヒーターは、エンジン上部に位置します。ドライブベルトによって駆動され、ビスカスユニット内のシリコンオイルをかくはんします。その時に発生する熱によって冷却水を温め、暖房性能を向上させます。)	補助ヒーターあり + ビスカスヒーターあり	補助ヒーターあり	○	○	○	-	-
オルタネーター	発生電流量を上げて、冬場の電装品の使用頻度増加に対応しています。	130A	100A	○	○	○	-	-
スターター	スターターの容量を上げています。(モーター定格出力アップし、始動性を向上) エンジンの始動性を向上するためスターターの容量を上げています。	2.7kw	2.0kw	○	○	○	-	-

*1 リヤフォグランプと寒冷地仕様はセットでメーカーオプションとなります。



ウォッシャー液量が少なくなった場合、「ウォッシャー液不足」と表示

<上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備>

装備	説明
ウインターブレード *2	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。そこで、ブレード(ゴムの部分)を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

*2 ウインターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。